

広島県後期高齢者医療広域連合事務局における新型コロナウイルス感染症  
の患者の発生について

1 概要

- 5月16日（日）に、本広域連合事務局（広島市中区東白島町19番49号）の職員1名（30歳代）が新型コロナウイルス感染症に感染していることが確認されました。

（経過）

- ・ 5月14日（金） 通常通り勤務  
同居の家族の知人が感染者であることが判明
- ・ 5月15日（土） 同居の家族がPCR検査を受検，陽性が判明  
保健所より濃厚接触者である旨の連絡があり，  
本人も発熱があったため，PCR検査を受検
- ・ 5月16日（日） 陽性が判明  
現在，宿泊療養施設入所待機中（自宅）

2 業務への従事状況

- 当該職員は，不特定多数の県民と接触する業務には従事していません。

3 感染拡大防止に向けた対応

- 新たな感染を防ぐため，当該職員が所属する執務室等について消毒を実施しました。
- 他の職員等との接触状況については現在調査中ですが，保健所の指導等を踏まえ，適切に対応していきます。
- 職員の健康状態を報告させるなど健康管理の徹底を行ってまいります。